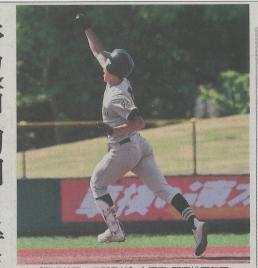


## 初回9得点

勝機を引き寄せた。三、本塁打で勢いづくと、さらに後続も畳みかけ、計4人の猛攻で9点を奪いがくと、さいます。 回途中から救援した一ノ適時打で5点を追加。四四には泉、穐本の連続 「評」野辺地西は初回



【野辺地西—五所農林】1回表、野辺地西無死、 左越え本塁打を放った先頭打者の佐々木がガッツポーズでダイヤモンドを回る=はるか夢 分たちがやってきたこと」している。野球部の3年 い。 (青森中央、3年) 自 が何回もあったので感謝 べ。を喫した青森中央・松風 い。(松風塾の2人には) いるを喫した青森中央・松風 い。(松風塾の2人には) いるを吹した青森中央・松風 い。(松風塾の2人には) いるといる。 悔し 間 年い。 ドラームの目標である と にはチームの目標である いう間。 来年、後輩たち で、あっと

るように計7点を奪ったしかかった。 ◆初回に先頭打者本塁が、序盤の失点が重くの生かが、序盤の失点が重くの生かかった。 ・一つなくの生ができない。 をしのぎ、自責点0で試 平の長打などで追いかけ からホームランを打つこ 前日の夜

大をイメージしていた。 を放った五所農林の兼平は武 とをイメージしていた。 を放った五所農林の東 を) 越えると確信。球が られてしまったので打つ をにかくうれしかった。 に来る球に狙いを絞ってった とにかくうれしかった。 に来る球に狙いを絞ってった とにかくうれしかった。 に来る球に狙いを絞ってった とってもプレッシャーに の声がけなど雰囲気はと とってもプレッシャーに の声がけなど雰囲気はと とってもプレッシャーに の声がけなど雰囲気はと なる。次戦も1番として ても良かった。 悔しい気を 勝利を確信できる一打を 持ちはあるけれども、今を 放ちたい。

◆2打席連続で三塁打一できたので、悔いはない



光星 着々加点

点を追加し、四、 で一番熱い夏にしたい。一安心している。青森県 で不安だったが、全員でで不安だったが、全員で

ち、コールド勝ちに結び 九回まで戦う意識を持

つけることができた。初

| 点適時打を放って点差を | と活躍した八学光星の3 かえしてあげたかった。 | 満塁、田中楓が左前へ2 ◆3打数3安打3打点 の打者となった) 自分が 投と守備の乱れが失点に

一ドで迎えた二回2死

をことが、6失策につながみんな萎縮してしまった。 ってくれた舘田を(最後し、得点できたかもしれ ったと思う。主将として しっかり声をかけていれ ばミスを減らせただろう

田中楓の適時打で1点を

六回は再び

部(3年) 悔いの残る

◆主将としてチームを

加え、試合を決定づけた。 投げてはエース佐藤、

青森西は6失策、2暴

を広げる。捕手・鳥谷部 打を放ち4ー0とリード 田中楓が左前に2点適時 「青森西一八学光星」っ 裏、八学光星2死満塁